

平成29年度

災害公営住宅入居者 健康調査報告書



目 次

(ページ)

I	調査の概要	1
II	結果の概要	
1	世帯の状況	2
2	調査対象者の属性	3
3	健診の受診状況	5
4	疾病の状況	6
5	体調	8
6	心の問題	9
7	心の動揺	10
8	不眠の状況	10
9	飲酒の状況	11
10	食欲及び体重変化の状況	12
11	相談相手の有無	13
12	体を動かす機会の変化	14
13	行事への参加状況	15
14	要介護認定の状況	16
15	障害者手帳の有無	16
16	前回に引き続き回答があった方の状況	17
17	平成29年度災害公営住宅入居者 健康調査結果(市町村別の主な項目)	18
III	(参考)調査票様式	19

I 調査の概要

1 調査の目的

応急仮設住宅等から災害公営住宅に入居するに伴って、様々な健康問題の発生が懸念されることから、入居者の健康状況を把握し、要フォロー者を必要な健康支援に結びつけるとともに、施策展開の基礎資料とすることを目的として平成27年度から実施しているもの。

2 実施主体

宮城県及び12市町（仙台市、石巻市、塩竈市、気仙沼市、名取市、岩沼市、登米市、東松島市、大崎市、山元町、涌谷町、南三陸町）の共同実施

3 調査対象

上記12市町が管理する災害公営住宅の入居者 9,749世帯

4 実施時期

平成29年11月～平成30月2月

5 調査方法

- (1) 配布 郵送又は市町支援員等の戸別訪問
- (2) 回収 郵送又は市町支援員等の戸別訪問(さらに、希望する市町において、未回答世帯を対象に健診団体の訪問による聞き取りを実施)

6 調査項目

- (1) 個人属性(氏名, 性別, 生年月日, 続柄, 職業)
- (2) 健康状況(身体的・心理的状況, 身体活動・社会性の状況など)

7 配布・回収状況

- (1) 配布世帯数 9,749世帯
- (2) 回収世帯数 5,677世帯
- (3) 回収率 58.2%
- (4) 有効回答人数 9,565人

* 調査結果に掲載している数値は小数点第2位以下を四捨五入しているため、内訳合計と総数とが一致しない場合がある。

* 項目ごとに有効回答者数が異なる場合がある。また、各項目の母数(有効回答者数の計)は表中の()内に記載した。

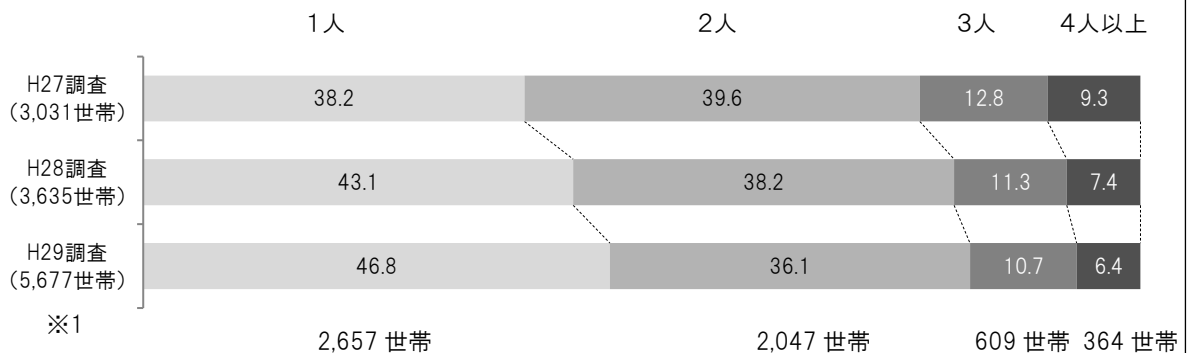
Ⅱ 結果の概要

1 世帯の状況

(1) 世帯人数

世帯ごとの人数は、「1人」が46.8%と最多で、次いで「2人」が36.1%となっている。

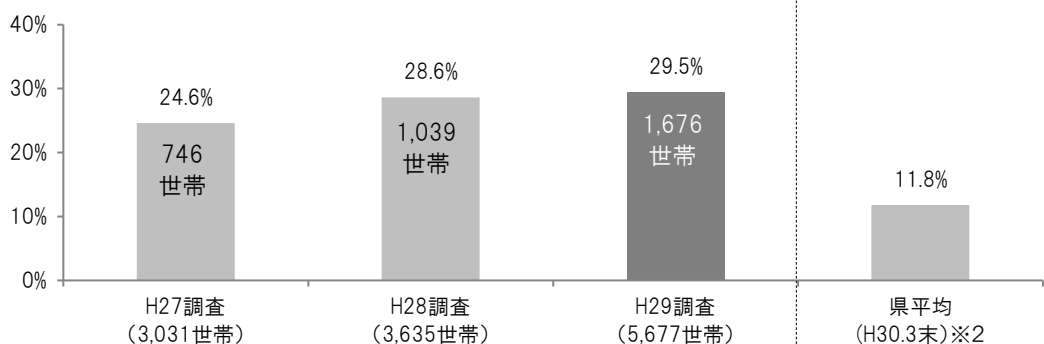
図1-1 世帯人数の割合(年度別)



(2) 独居高齢者世帯

65歳以上でひとり暮らしの世帯は1,676世帯ある。全世帯に占める割合は29.5%である。

図1-2 独居高齢者世帯の割合(年度別)



(注) 回答無記入・内容不明のデータは、除外して集計した(以下同じ)。

※1

平成27年度調査：平成27年度災害公営住宅入居者健康調査(平成27年9月～平成28年2月実施)(以下同じ)。

平成28年度調査：平成28年度災害公営住宅入居者健康調査(平成28年11月～平成29年2月実施)(以下同じ)。

※2 宮城県高齢者人口調査(長寿社会政策課)及び宮城県住民基本台帳人口及び世帯数(統計課)より。

2 調査対象者の属性

(1) 性別・年齢構成

年齢構成では、65歳以上の高齢者の割合は52.1%である。
 なお、県平均の高齢化率は、平成30年3月末現在で26.9%である(高齢者人口調査より)。

図2-1 65歳以上高齢者割合(年度別)

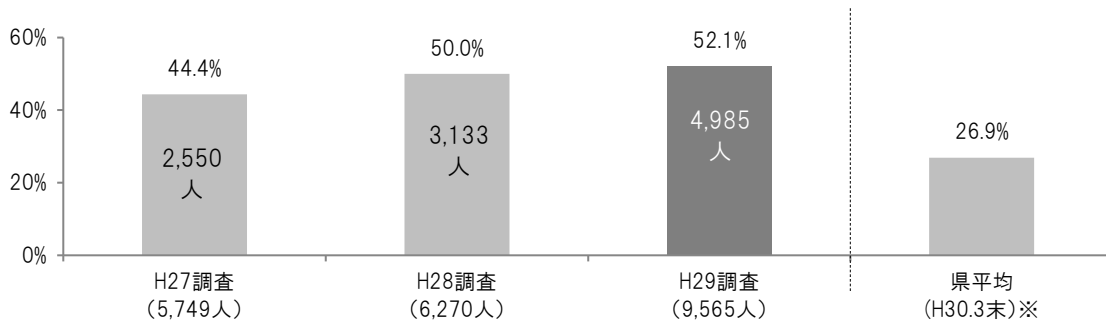
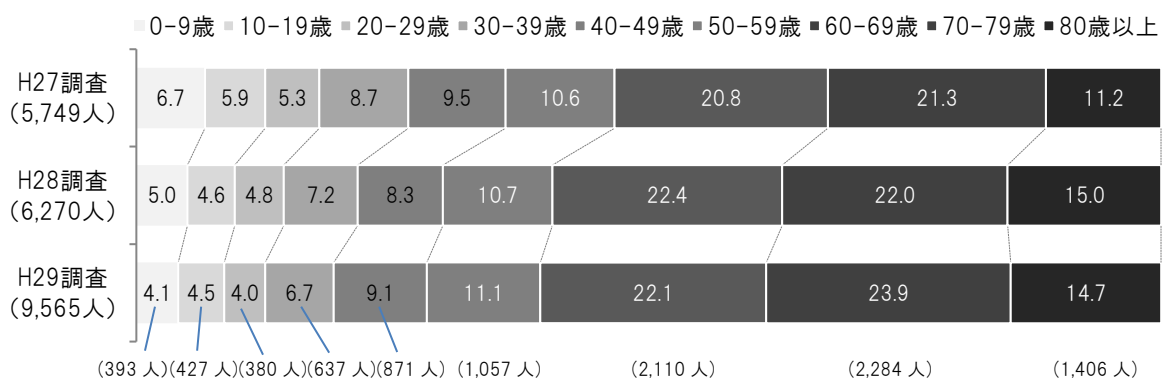


図2-2 性別の割合



図2-3 年齢構成割合(年度別)



(単位:%)

※ 宮城県高齢者人口調査(長寿社会政策課)及び宮城県住民基本台帳人口及び世帯数(統計課)より。

2 調査対象者の属性 (つづき)

(2) 職業

職業は、「無職」が43.8%と最多で、次いで「会社員」が15.2%となっている。

表2-1 職業(全年齢・複数回答あり)

職業	H27調査 (5,511人)	H28調査 (6,050人)	H29調査	
	割合	割合	人数	割合
会社員	13.3%	14.0%	1,377	(15.2%)
公務員	0.2%	0.2%	22	(0.2%)
自営業	2.6%	2.8%	254	(2.8%)
パート・アルバイト	14.3%	12.9%	1,251	(13.8%)
主婦	11.8%	12.4%	1,088	(12.0%)
学生	8.8%	6.7%	571	(6.3%)
無職	43.0%	44.4%	3,972	(43.8%)
農業	0.3%	0.2%	21	(0.2%)
漁業	0.3%	0.7%	90	(1.0%)
その他	5.4%	5.7%	432	(4.8%)
合計	100.0%	100.0%	9,078	100.0%

(3) 無職の理由 (15歳から64歳まで)

「無職」と回答した人のうち、15歳から64歳までの人は988人で、そのうち、「求職中」と回答した人は22.8%、「病気療養中」と回答した人は30.1%である。

図2-4 「無職」の理由(15歳から64歳まで)



図2-5 「求職中」の人の割合(性別, 年代別, 15歳から64歳まで)

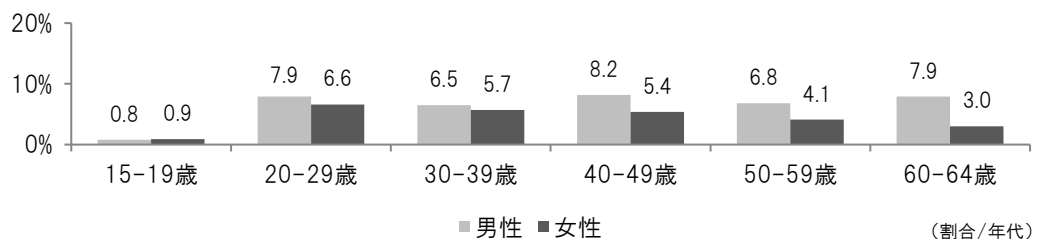
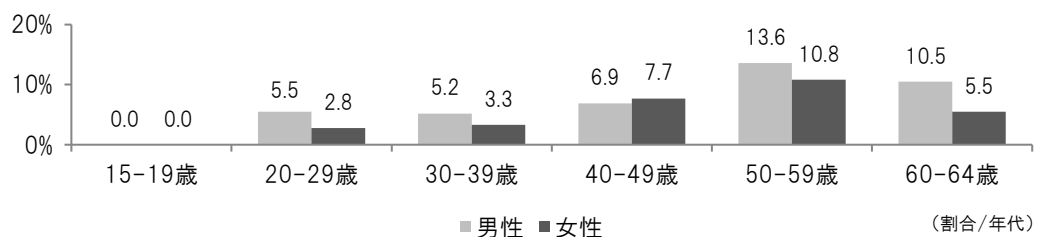


図2-6 「病気療養中」の人の割合(性別, 年代別, 15歳から64歳まで)



3 健診の受診状況

「最近1年間に健診を受けた」と回答した人は、65.8%である。(0歳から18歳は調査対象外)

図3-1 健診受診の状況(年度別)

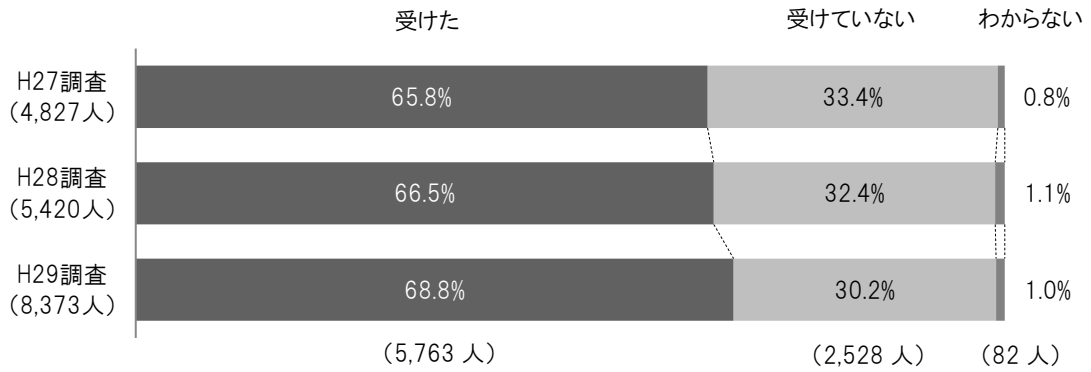
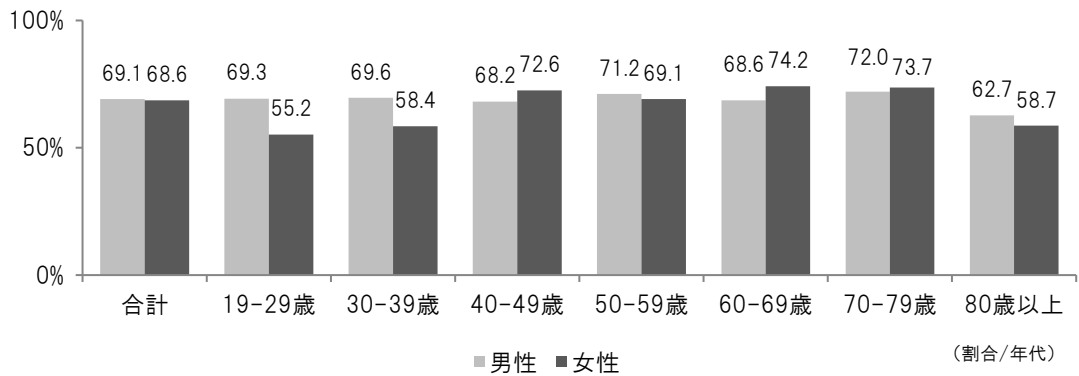


図3-2 「最近1年間に健診を受けた」人の割合(性別, 年代別)



4 疾病の状況

現在、「病気がある」と回答した人の割合は 62.6%である。

図4-1 現在の病気の有無(年度別)

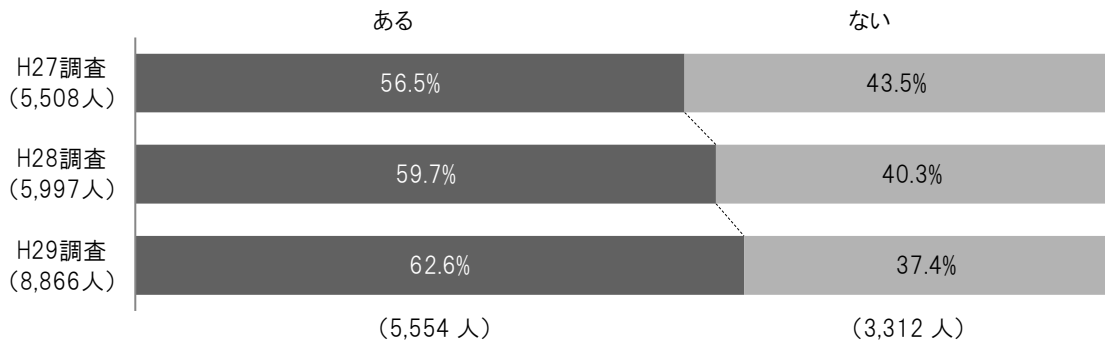
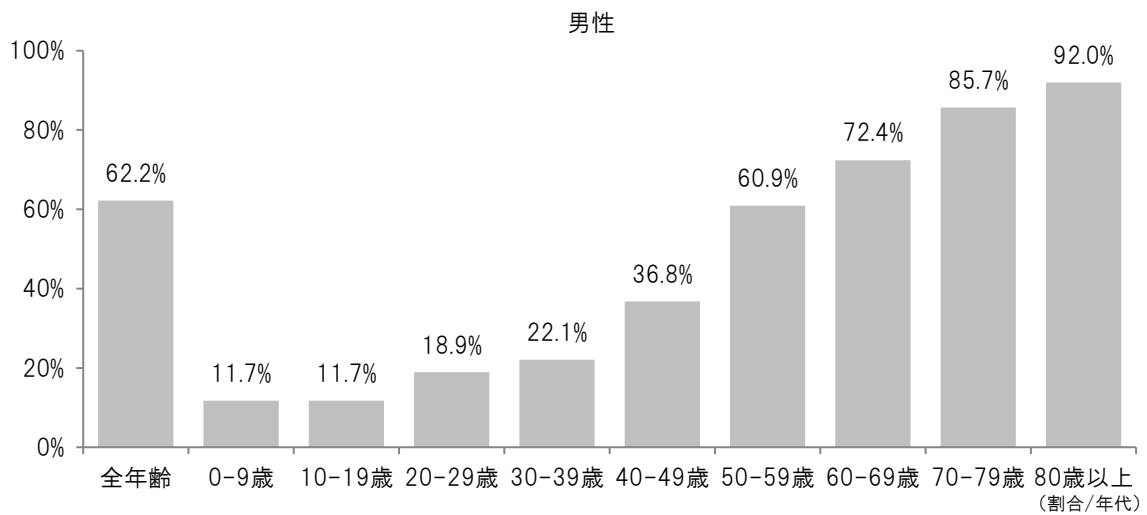
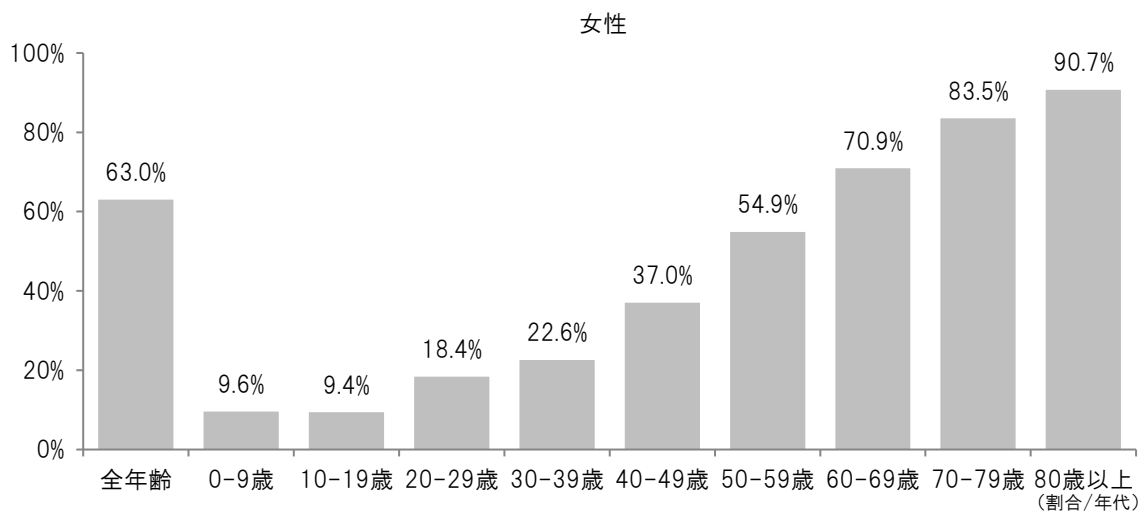


図4-2 「病気がある」人の割合(性別, 年代別)



注)上のグラフは、男性の回答者 3,930 人のうち、「病気がある」と回答した 2,446 人の割合を年代別で示したものの。



注)上のグラフは、女性の回答者 4,936 人のうち、「病気がある」と回答した 3,108 人の割合を年代別で示したものの。

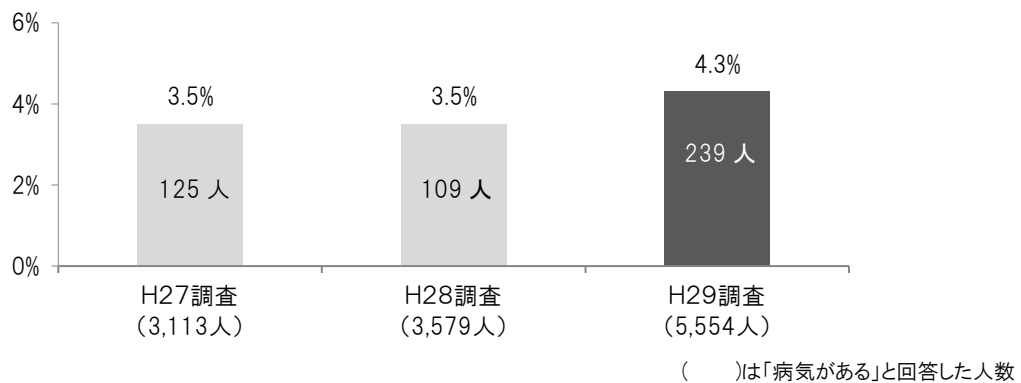
4 疾病の状況(つづき)

病気別では、高血圧(32.1%)が最多で、次いで糖尿病(11.4%)となっている。また、「病気がある」が「治療を中断している」と回答した人は、病気がある人の4.3%である。

表4-1 病気の種類別(複数回答あり)

病名	H27調査 (5,749人)	H28調査 (6,270人)	H29調査 (9,565人)	
	割合	割合	人数	割合※
高血圧	27.8%	30.6%	3,071	(32.1%)
糖尿病	10.2%	11.4%	1,094	(11.4%)
心疾患	5.7%	6.4%	601	(6.3%)
呼吸器疾患	5.2%	5.4%	471	(4.9%)
がん	4.8%	5.1%	512	(5.4%)
精神疾患	5.2%	5.0%	486	(5.1%)
脳血管疾患	3.6%	3.2%	296	(3.1%)
透析	0.7%	0.8%	52	(0.5%)
その他	18.4%	19.6%	1,625	(17.0%)

図4-3 「病気がある」が「治療を中断している」人の割合(年度別)



※ 割合は、有効回答数に占める割合。

5 体調

体調が「あまり良くない」、「とても悪い」と回答した人の割合は 22.5%である。高齢者ほど割合が高い。

図5-1 体調の状況(年度別)

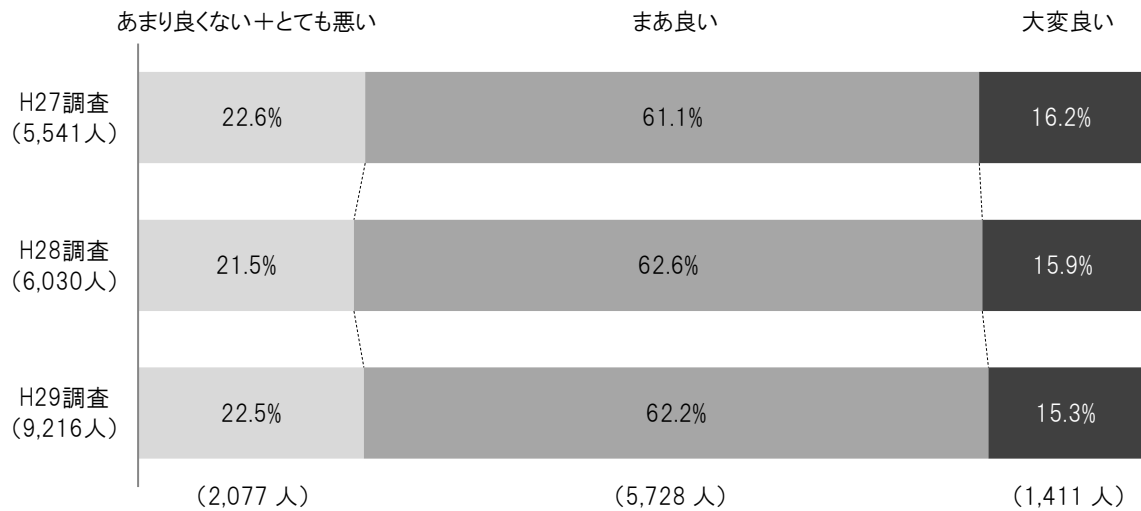
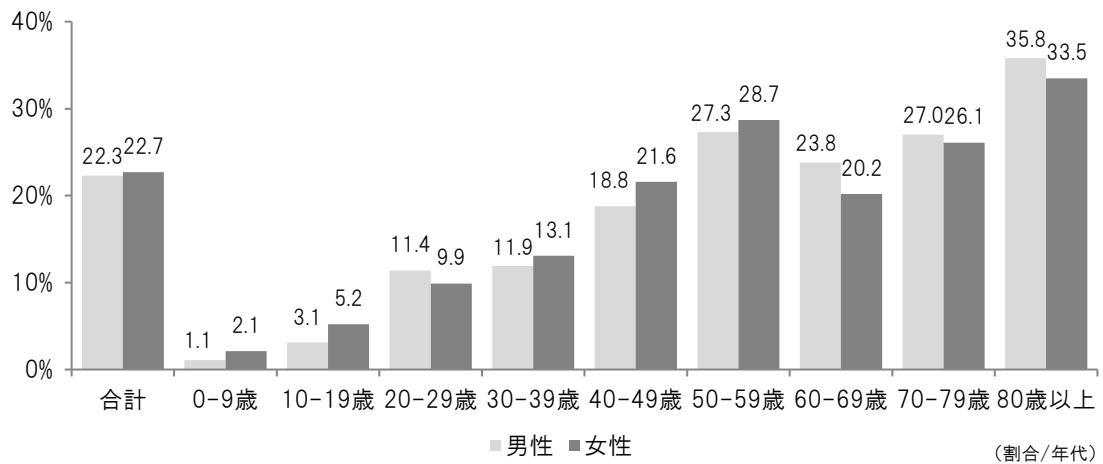


図5-2 「あまり良くない」と「とても悪い」の合計の割合(性別, 年代別)



6 心の問題

不安、抑うつ症状を測定する指標であるK6(※)で見ると、「支援が必要な程度の強い心理的苦痛を感じている」とされる13点以上の割合は8.4%である。性別、年齢別では、80歳以上の男性が12.0%と高い。

図6-1 心の状況(K6, 対象:18歳以上, 年度別)

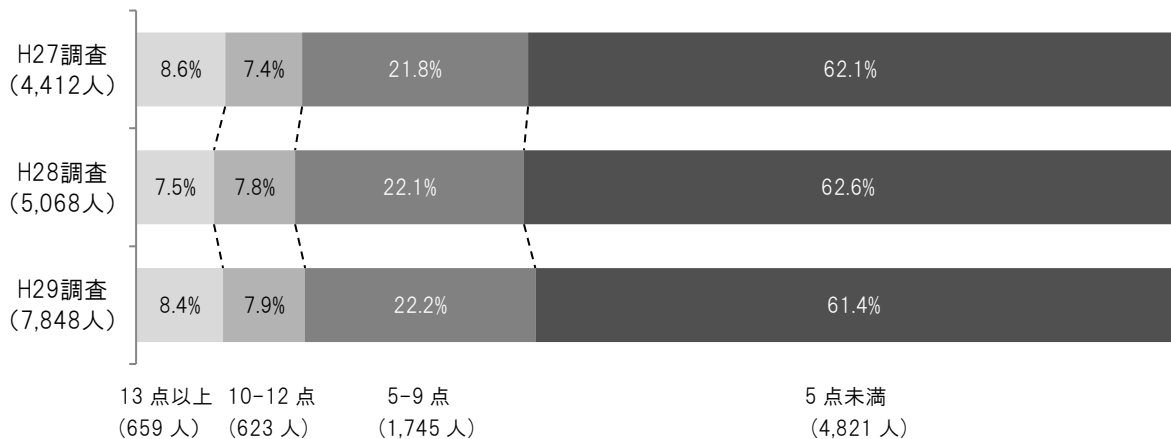
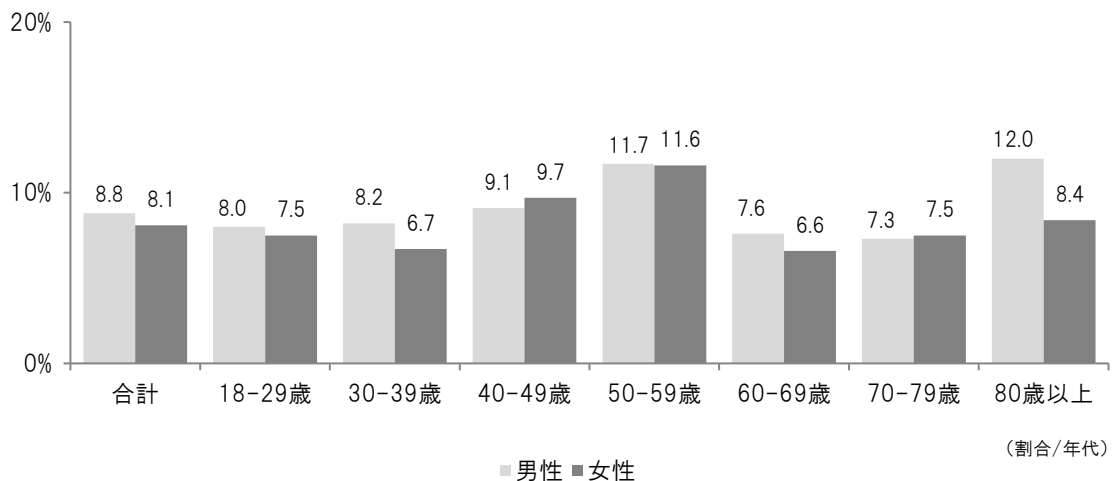


図6-2 K6「13点以上」であった人の割合(性別、年代別)



(注)※ K6(ケーシックス)とは

K6は米国の Kessler らによって、うつ病・不安障害などの精神疾患をスクリーニングすることを目的として開発され、一般住民を対象とした調査で心理的ストレスを含む何らかの精神的な問題の程度を表す指標として広く利用されている。

「神経過敏に感じましたか」「絶望的だと感じましたか」「そわそわ、落ち着かなく感じましたか」「気分が沈み込んで、何が起ころうとも気が晴れないように感じましたか」「何をするのも骨折りだと感じましたか」「自分は価値のない人間だと感じましたか」の6つの質問について5段階(「まったくない」(0点), 「少しだけ」(1点), 「ときどき」(2点), 「たいてい」(3点), 「いつも」(4点))で点数化する。合計点数が高いほど、精神的な問題がより重い可能性があるとしてされている。

平成28年に厚生労働省が実施した国民生活基礎調査では、13点以上が4.3%であった(20歳以上。「不詳」を除いて集計)。

7 心の動揺

「災害を思い出して気持ちが動揺することがある」と回答した人の割合は 16.2%である。全体的に女性が
高い。

図7-1 「災害を思い出して気持ちが動揺することがある」人の状況(年度別)

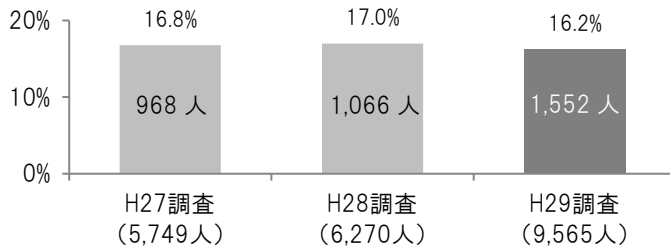
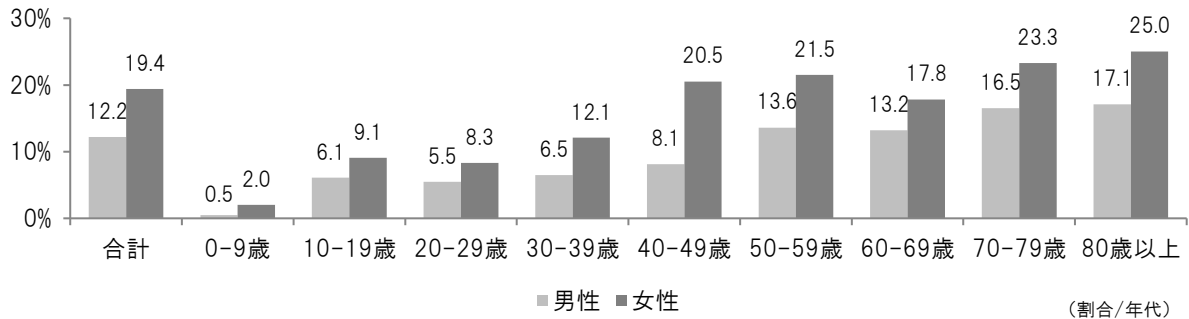


図7-2 「災害を思い出して気持ちが動揺することがある」人の割合(性別, 年齢別)



8 不眠の状況

「眠れない」と回答した人の割合は 16.7%である。男女別では女性が、年齢別では 50 歳代から 80 歳代
で高い。

図8-1 「眠れない」人の状況(年度別)

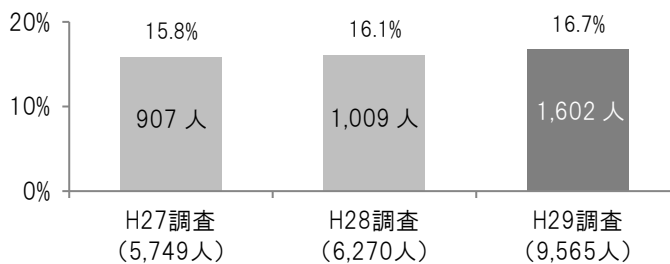
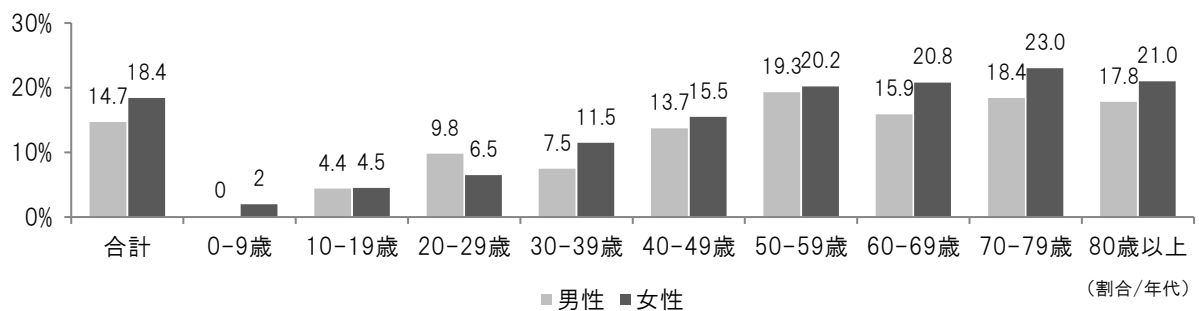


図8-2 「眠れない」人の割合(性別, 年代別)



9 飲酒の状況

(1) 朝又は昼からの飲酒状況

「朝又は昼から飲酒することがある」と回答した人の割合は 2.3%である。全体的に男性の割合が高く、50 歳代男性は 8.3%である。

図9-1 「朝又は昼から飲酒することがある」人の割合(年度別)

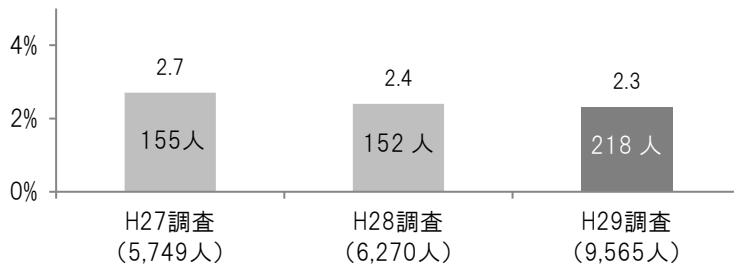
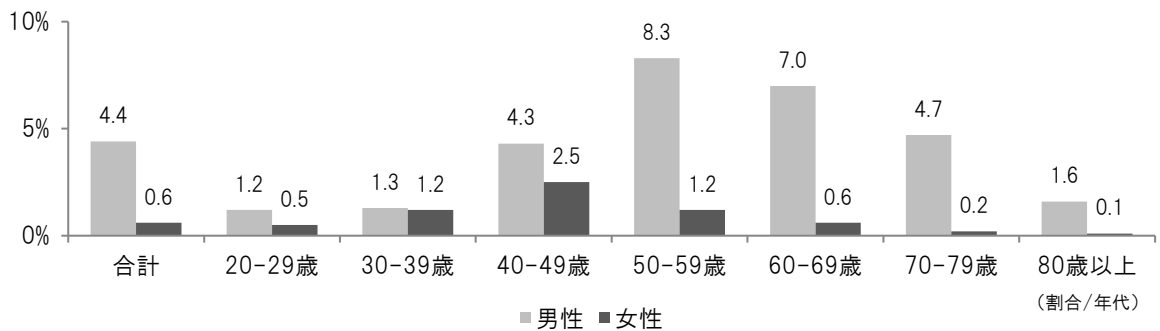


図9-2 「朝又は昼から飲酒することがある」人の割合(性別, 年代別)



(2) 多量飲酒の状況

「週4日以上かつ1日3合以上飲酒する」と回答した人の割合は 7.0%である。全体的に男性の割合が高く、60 歳代男性が 21.6%である。

図9-3 「週4日以上かつ1日3合以上飲酒する」と回答した人の割合(年度別)

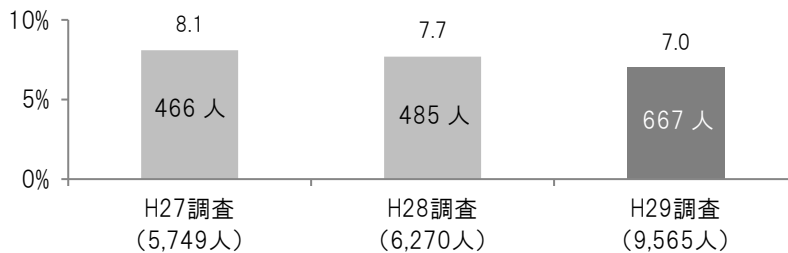
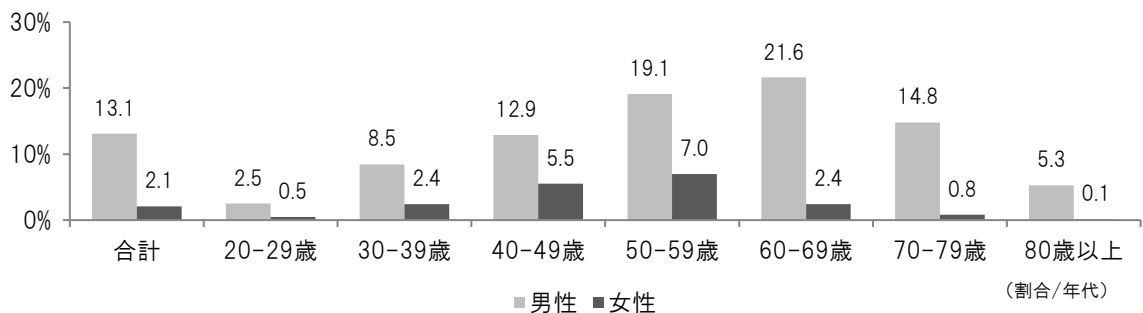


図9-4 「週4日以上かつ1日3合以上飲酒する」と回答した人の割合(性別, 年代別)



10 食欲及び体重変化の状況

「食欲がない」と回答した人の割合は 3.9%である。
 「1年前に比べて体重が減少した」と回答した人の割合は 11.8%である。
 「1年前に比べて体重が増加した」と回答した人の割合は 18.2%である。

図10-1 食欲及び体重変化の状況の割合

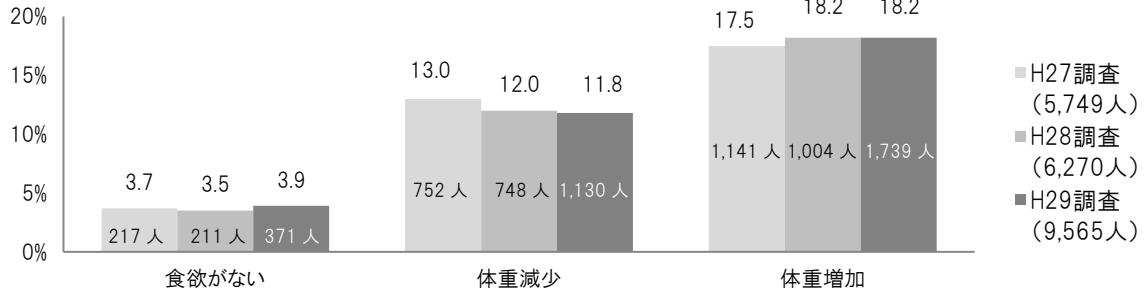


図10-2 「食欲がない」人の割合(性別, 年代別)

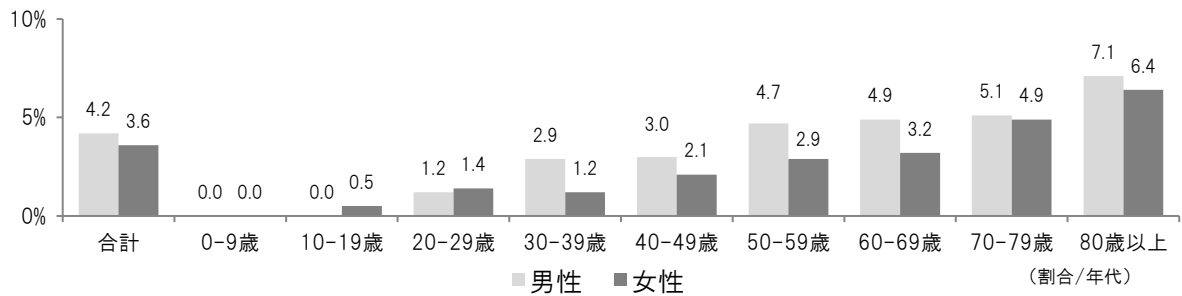


図10-3 「体重が減少した」人の割合(性別, 年代別)

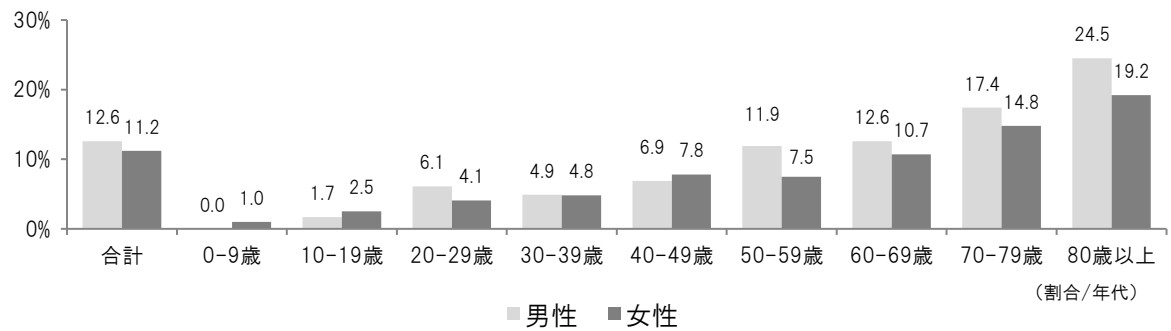
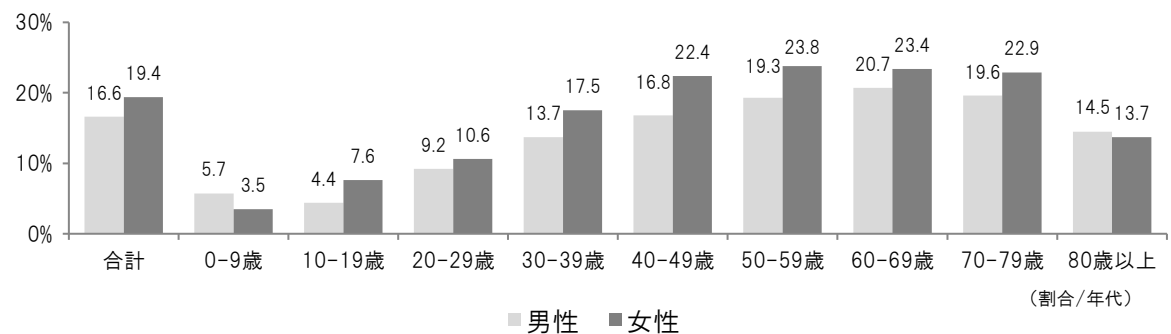


図10-4 「体重が増加した」人の割合(性別, 年代別)



1 1 相談相手の有無

「相談相手がいる」と回答した人の割合は 78.5%である。特に、男性で「相談相手がない」と回答した人の割合が高い。

図11-1 相談相手の有無

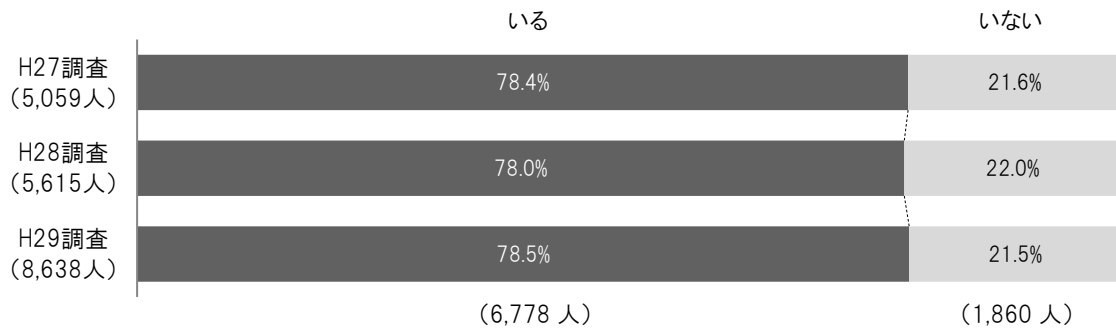
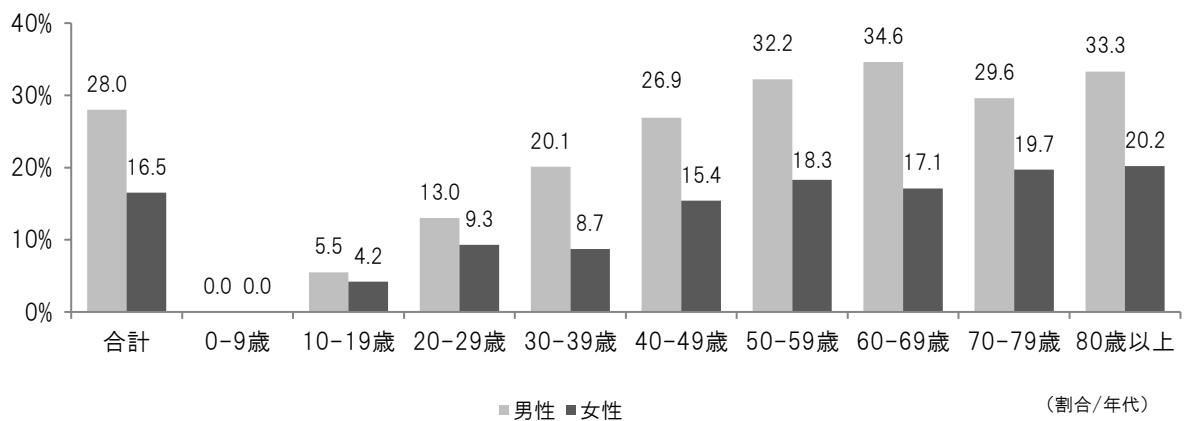


図11-2 「相談相手がない」人の割合(性別, 年代別)



1 2 体を動かす機会の変化

震災前に比べて日頃の生活で体を動かす機会が「とても少なくなった」と「少なくなった」と答えた人の割合は37.0%である。

図12-1 体を動かす機会の変化(年度別)

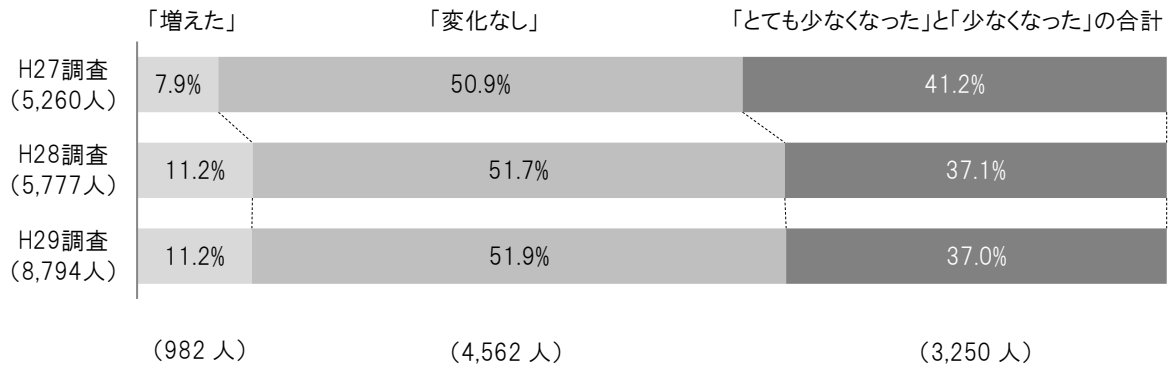
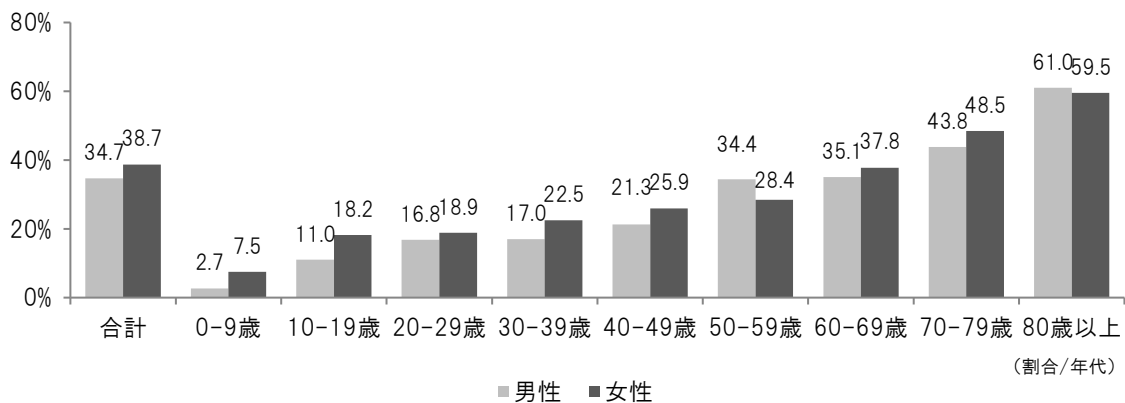


図12-2 「とても少なくなった」と「少なくなった」の合計の割合 (性別, 年代別)



1 3 行事への参加状況

地域との交流行事に「参加している」と回答した人は 40.6%である。男女別では女性で高くなっている。

図13-1 行事への参加(年度別)

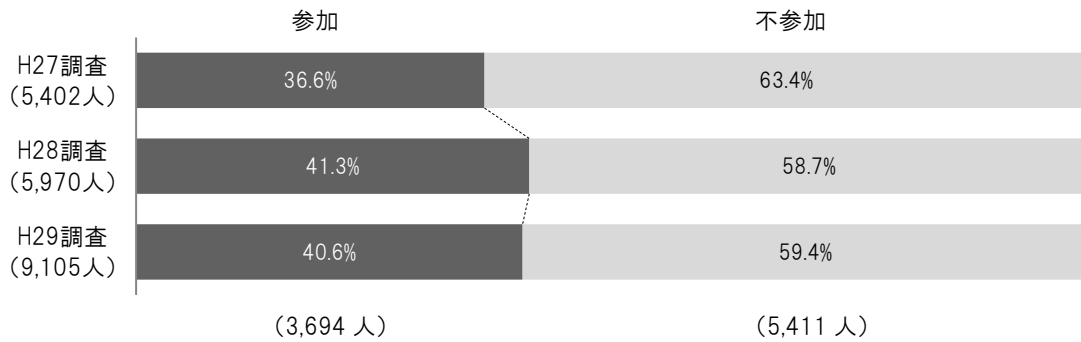
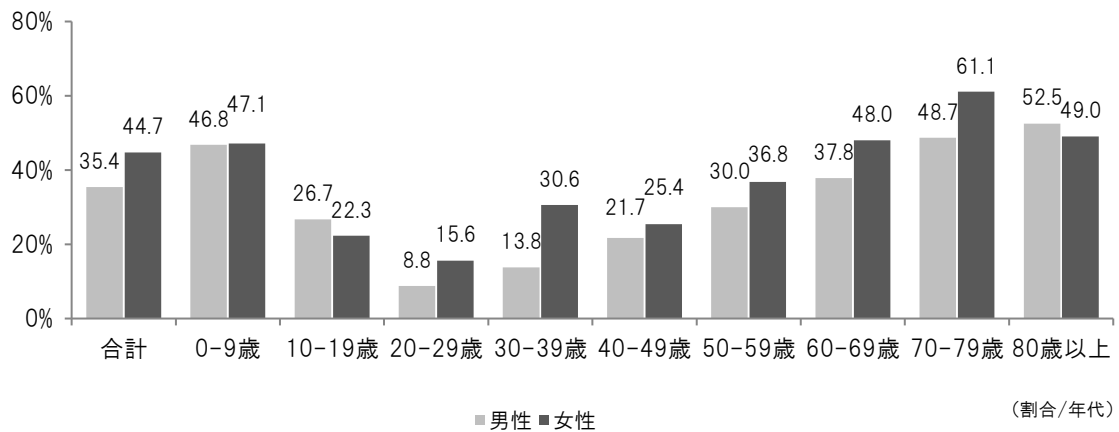


図13-2 参加している人の割合(性別, 年代別)



1 4 要介護認定の状況

65歳以上に占める要介護・要支援認定者の割合は15.9%である。また、認定者のうち、サービスを利用している人の割合は、72.1%である。

表14 要介護認定の状況

	H27調査		H28調査		H29調査			
	認定者	サービス利用	認定者	サービス利用	人数	認定者	サービス利用	
	割合※1 (2,550人)	割合※2	割合※1 (3,133人)	割合※2		割合※1 (4,985人)	人数	割合※2
要支援1	6.7%	43.5%	6.4%	50.7%	257	5.2%	152	59.1%
要支援2	3.5%	54.4%	3.8%	61.0%	174	3.5%	121	69.5%
要介護1	3.2%	74.4%	2.4%	78.4%	126	2.5%	98	77.8%
要介護2	2.7%	81.4%	2.0%	79.4%	94	1.9%	79	84.0%
要介護3	1.9%	77.6%	1.4%	84.1%	60	1.2%	54	90.0%
要介護4	1.3%	75.8%	0.9%	65.5%	50	1.0%	40	80.0%
要介護5	1.1%	64.3%	0.9%	70.4%	31	0.6%	27	87.1%
合計	20.5%	61.7%	17.7%	64.2%	792	15.9%	571	72.1%

※1 65歳以上の高齢者数に占める割合。

※2 要介護・要支援認定者数に占める割合。

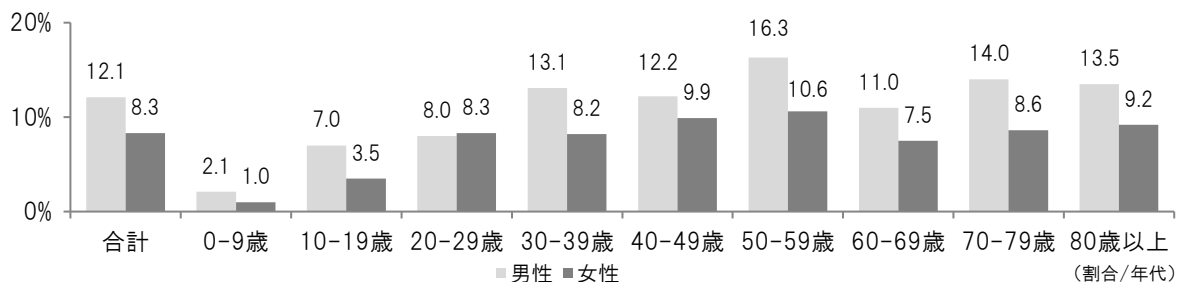
1 5 障害者手帳の有無

障害者手帳を持っている人の割合は10.0%である。

表15 障害者手帳の状況

	H27調査	H28調査	H29調査	
	割合※4 (5,749人)	割合※4 (6,270人)	人数※3	割合※4 (9,565人)
手帳あり	10.5%	11.0%	954	10.0%
身体	8.0%	7.9%	675	7.1%
療育	1.5%	1.3%	120	1.3%
精神	2.4%	2.2%	205	2.1%

図15 障害者手帳を持っている人の割合(性別、年代別)

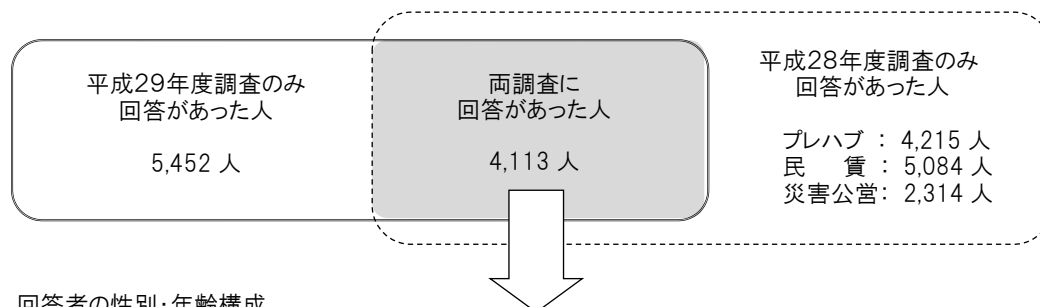


※3 複数の手帳を所持している人や種別を記載していない人がいるため、合計は一致しない。

※4 有効回答数に占める割合。

16 前回に引き続き回答があった方の状況

今回調査の回答者 9,565 人のうち、平成 28 年度に実施した 3 つの健康調査(プレハブ仮設住宅、民間賃貸借上住宅、災害公営住宅入居者健康調査)でも回答していた方は 4,113 人(43.0%)である。これらの 4,113 人について、両調査における回答状況を比較すると、体調が「とても悪い」及び「あまり良くない」人は 1.5 ポイント高い。



(1) 回答者の性別・年齢構成

(人)

	0~9歳	10~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上	合計	65歳以上[再掲]
男性	75	81	64	122	144	192	422	440	261	1,801	958
女性	73	72	91	131	200	249	493	576	427	2,312	1,308
合計	148	153	155	253	344	441	915	1,016	688	4,113	2,266
(割合)	(3.6%)	(3.7%)	(3.8%)	(6.2%)	(8.4%)	(10.7%)	(22.2%)	(24.7%)	(16.7%)	(100.0%)	(55.1%)

(2) 回答の状況

項目	選択肢	回答人数 (割合※1)		増減
		H29調査	H28調査	
体調	「とても悪い」+「あまり良くない」	927 (22.5%)	867 (21.1%)	60 (1.5)
疾病の状況	「病気がある」	2,476 (60.2%)	2,427 (59.0%)	49 (1.2)
心の問題	K6が13点以上 ※2	271 (7.9%)	256 (7.4%)	15 (0.5)
不眠の状況	「眠れない」	686 (16.7%)	692 (16.8%)	▲ 6 (▲ 0.1)
飲酒の状況	「朝又は昼から飲酒することがある」	75 (1.8%)	90 (2.2%)	▲ 15 (▲ 0.4)
食欲の状況	「食欲がない」	166 (4.0%)	129 (3.1%)	37 (0.9)
相談相手の有無	「いない」	788 (19.2%)	820 (19.9%)	▲ 32 (▲ 0.8)
体を動かす機会の変化	「とても少なくなった」+「少なくなった」	1,472 (35.8%)	1,477 (35.9%)	▲ 5 (▲ 0.1)

※1 H28年調査・H27年調査ともに、前回に引き続き回答があった人(4,113人)に占める割合(心の問題※2を除く)。

※2 K6について有効な回答をした18歳以上の人に占める割合。

17 平成29年度災害公営住宅入居者健康調査結果(市町別の主な項目)

住民登録市町		回収世帯数 【A】	有効回答人数 【B】※1	独居高齢者世帯 【C】(C/A)	治療中断 【D】(※2)	K6 13点以上の人 【E】(※3)	朝又は昼から飲酒する ことがある人 【F】(F/B)
沿岸市町	仙台市	1,786	3,136	475 (26.6%)	100 (5.6%)	240 (9.2%)	83 (2.6%)
	石巻市	1,592	2,694	472 (29.6%)	55 (3.4%)	172 (7.8%)	50 (1.9%)
	塩竈市	188	324	56 (29.8%)	5 (2.6%)	12 (4.5%)	5 (1.5%)
	気仙沼市	415	638	125 (30.1%)	13 (3.3%)	47 (9.0%)	13 (2.0%)
	名取市	293	456	90 (30.7%)	13 (4.5%)	50 (12.8%)	10 (2.2%)
	岩沼市	115	208	27 (23.5%)	9 (7.3%)	13 (7.7%)	8 (3.8%)
	東松島市	469	764	156 (33.3%)	23 (5.9%)	47 (7.4%)	24 (3.1%)
	山元町	310	458	120 (38.7%)	5 (1.7%)	25 (7.0%)	15 (3.3%)
	南三陸町	351	621	102 (29.1%)	11 (3.2%)	31 (6.5%)	7 (1.1%)
内陸市町	大崎市	82	142	26 (31.7%)	3 (4.2%)	9 (8.0%)	3 (2.1%)
	登米市	52	79	20 (38.5%)	2 (3.6%)	11 (15.7%)	0 (0.0%)
	涌谷町	24	45	7 (29.2%)	0 (0.0%)	2 (5.9%)	0 (0.0%)
合計		5,677	9,565	1,676 (29.5%)	239 (4.3%)	659 (8.4%)	218 (2.3%)
参考	H28調査	3,635	6,270	1,039 (28.6%)	125 (3.5%)	381 (7.5%)	152 (2.4%)
	H27調査	3,031	5,749	746 (24.6%)	109 (3.5%)	381 (8.6%)	155 (2.7%)

※1 性別及び年齢について有効な回答をした人の数。

※2 「現在病気がある」と回答した人の数に占める割合。

※3 K6について有効な回答をした18歳以上の人の数に占める割合。

Ⅲ (参考) 調査票様式

整理番号 _____

* こちらには記入しないでください。

ご家族が4人以上の場合には、
調査票をもう1枚ご使用ください。

平成29年度 健康と生活に関する調査票

- * この調査は、宮城県と市町村が、東日本大震災で被災された皆様を対象に年に1回、定期的に行っているものです。調査結果は、健康相談や生活再建に関する支援等を実施し、より充実した体制を整備するための資料とすることとしています。
- * ご回答いただいた内容は、目的以外に使用することはありません。ただし、上記目的のため、調査結果を、いまお住まいの市町村や住民票のある市町村に提供させていただきますのでご了承ください。
- * また、内容について県や市町村の保健師等がご連絡(電話・訪問等)をさせていただきます場合もありますので、よろしくお願いします。

記入年月日	平成29年 月 日
-------	-----------

4人以上同居している場合には、
2枚目を使用してください。

1. 世帯の状況を下記に記載願います。

フリガナ				この住宅に住んでいる人数	人
世帯主氏名					
復興公営住宅	市町名				
	住宅名	部屋番号			
	電話番号	* 世帯の状況をよく分かっている方や日中に連絡がとれる方の番号を記載願います。			
	①	—	—	(携帯電話の場合の持ち主:)	
	②	—	—	(携帯電話の場合の持ち主:)	
	③	—	—	(携帯電話の場合の持ち主:)	
被災したときの住所	県		市・町・村		区

住民票はどちらにありますか。県名、市町村名を下記に記入してください。

県・市町村名	県	市・町・村	区
--------	---	-------	---

復興公営住宅の入居に当たり、一緒にお住まいの方が変わりましたか。どちらかに○をつけてください。

同居している方の変化	変わった	・	変わっていない
------------	------	---	---------

宮城県・市町

1人目記入欄					
1 氏名(性別)・生年月日(年齢)	2 世帯主・世帯主からみた続柄	3 職業	4 過去1年間に健診(学校、職場、市町村等で実施する健診)を受けましたか。	5 体調はいかがですか。	
フリガナ 氏名 性別 ①男性 ②女性 生年月日 大正・昭和・平成____年____月____日 年齢 満____歳(11月1日現在)	①世帯主 ②配偶者 ③子 ④子の配偶者 ⑤孫 ⑥父母 ⑦その他 ()	①会社員 ⑥漁業 ②公務員 ⑦主婦 ③自営業 ⑧学生 ④パート・アルバイト ⑨無職 ⑤農業 ⑩その他 () あてはまる項目に○をつけてください ①求職中 ②病気療養中 ③その他	①受けた ②受けていない ③分からない 19歳以上の方がお答えください。	①大変よい ②まあよい ③あまり良くない ④とても悪い	
6 病気はありますか。 ①ある ②ない ナシ お進みください。 「①ある」と回答した方は、病名に○をつけてください。 病名 → ○をつけた病気について治療の状況に○をつけてください。			7 こころの問題についてお聞きします。 過去30日間に、どれくらいの頻度で下記のことがありましたか。 全ての項目のあてはまるところに○をつけてください。 ない場合は、「全くない」に○をつけてください。 18歳以上の方がお答えください。		
①糖尿病 → 治療済・治療中・治療中断 ②高血圧 → 治療済・治療中・治療中断 ③がん → 治療済・治療中・治療中断 ④心疾患 → 治療済・治療中・治療中断 ⑤脳血管疾患 → 治療済・治療中・治療中断 ⑥呼吸器疾患 → 治療済・治療中・治療中断 ⑦精神疾患 → 治療済・治療中・治療中断 ⑧透析 → 治療済・治療中・治療中断 ⑨その他 () → 治療済・治療中・治療中断			項目 \ 頻度		
「治療中断」されている場合、その主な理由は何ですか。 ① 主治医の指示 ② 自己判断 ③ その他()			全くない 少しだけある 時々ある たいていある いつもある		
① 神経過敏に感じる ② 絶望的だと感じる ③ そろそろ、落ち着かなく感じる ④ 気分が沈み込んで、何が起ころとも気が晴れない感じがする ⑤ 何をするのも骨折りだと感じる					
① 自分は価値のない人間だと思う					
8 現在の状況について、①～⑤に当てはまるものがある場合には、番号に○をつけてください。 体重の増減があった場合にはその量についても記載してください。	9 次のような飲酒の習慣はありますか。(当てはまる全てに○をつけてください) ①朝または昼から飲酒することがある ②週4日以上かつ1日3合以上飲酒する *3合目安: 以下のいずれか。清酒3合、ビール中瓶500ml×3本、焼酎(25度)330ml、ワイン100ml×6杯	10 現在の住宅への転居前に比べて、日頃の生活で体を動かす機会はどうなりましたか。 ①とても少なくなった ②少なくなった ③変化なし(もともと少なかった) ④変化なし(よく動いている) ⑤増えた	11 自治会や集会所で開催される行事への参加等、地域との交流の場へ参加していますか。 ①参加している ②参加していない	12 悩みなどを相談できる相手がいいますか。 ①いる ②いない	13 介護保険の認定を受けていますか。受けている場合、サービスを利用していますか。 ①いいえ ②要支援1 ③要支援2 ④要介護1 ⑤要介護2 ⑥要介護3 ⑦要介護4 ⑧要介護5 *サービス利用の有無 ①有り ②無し
①眠れない ②何かのきっかけで、災害を思い出して気持ちが動揺することがある ③食欲がない ④1年前に比べて、体重が減少した (kg減) *健康のために意識的に減らした場合は除く ⑤1年前に比べて、体重が増加した (kg増) *成長期による体重の増加は除く					14 障害者手帳をお持ちですか。お持ちの場合、サービスを利用していますか。 ①いいえ ②身体____級 ③療育 A・B ④精神____級 *サービス利用の有無 ①有り ②無し

調査への御協力ありがとうございました。再度、記入漏れがないかご確認ください。